

# 令和2年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	高知県		市町村類型	I-O		指定団体等の指定状況		区分	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	区分	令和2年度(千円・%)	令和元年度(千円・%)	
						財政健全化等	×							
市町村名	東洋町		地方交付税種地	2-1		財源超過	×	歳入総額	3,473,107	3,006,520	実質収支比率	0.9	0.8	
人口	令和2年国調(人)	2,194	産業構造(※5)		中部	×	歳出総額	3,445,962	2,953,964	経常収支比率	93.3	97.0		
	平成27年国調(人)	2,584			首都	×	歳入歳出差引	27,145	52,556	(※1)	(95.6)	(99.6)		
	増減率(%)	-15.1			近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	11,016	40,015	標準財政規模	1,729,703	1,638,600		
住民基本台帳人口(※7)	令03.01.01(人)	2,307	区分	平成27年国調	平成22年国調	低開発	×	実質収支	16,129	12,541	財政力指数	0.13	0.13	
	うち日本人(人)	2,287	第1次	274	326	指数表選定	○	単年度収支	3,588	7,598	公債費負担比率	18.8	21.1	
	令02.01.01(人)	2,381		26.7	29.2	積立金	7,100	10,100	健全化判断比率	-	-			
	うち日本人(人)	2,361	第2次	194	222	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-			
	増減率(%)	-3.1		18.9	19.9	積立金取崩し額	0	0	連結実質赤字比率	-	-			
うち日本人(%)	-3.1	第3次	560	570	実質単年度収支	10,688	17,698	実質公債費比率	12.7	12.6				
面積(km <sup>2</sup> )	74.02		54.5	51.0	標準財政収入額	205,986	194,121	将来負担比率	67.8	74.0				
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	30								基準財政収入額	1,641,588	1,548,380	資金不足比率(※4)		
世帯数(世帯)	1,236								基準財政需要額	251,833	242,188			
職員の状態										標準税収入額等	1,615,479			1,597,117
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	4,093,433	3,958,527			
	市区町村長	1	6,350		一般職員	49	142,835	2,915	うち公的資金	3,889,405	3,714,936			
	副市区町村長	1	5,530		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690			
	教育長	1	5,170		うち技能労務職員	4	10,636	2,659	収益事業収入	-	-			
	議会議長	1	2,330		教育公務員	-	-	-	土地開発基金現在高	81,720	81,720			
	議会副議長	1	1,910		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	121,600	114,500			
	議会議員	7	1,630		合計	49	142,835	2,915	減債基金	93,720	90,680			
						ラスパイレス指数	93.3			その他特定目的基金	453,234	397,960		
											地方債現在高	4,093,433	3,958,527	
											うち公的資金	3,889,405	3,714,936	
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269,690		
										収益事業収入	-	-		
										土地開発基金現在高	81,720	81,720		
										積立金現在高	121,600	114,500		
										減債基金	93,720	90,680		
										その他特定目的基金	453,234	397,960		
										地方債現在高	4,093,433	3,958,527		
										うち公的資金	3,889,405	3,714,936		
										債務負担行為額(支出予定額)	198,989	269		

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	173,468	5.0	173,468	10.3	普通税	173,468	100.0	-	
地方譲与税	25,371	0.7	25,371	1.5	法定普通税	173,468	100.0	-	
利子割交付金	405	0.0	405	0.0	市町村民税	79,138	45.6	-	
配当割交付金	667	0.0	667	0.0	個人均等割	3,365	1.9	-	
株式等譲渡所得割交付金	813	0.0	813	0.0	所得割	69,781	40.2	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	4,517	2.6	-	
地方消費税交付金	51,437	1.5	51,437	3.0	法人税割	1,475	0.9	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	79,559	45.9	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	77,593	44.7	-	
自動車取得税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	9,458	5.5	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	5,313	3.1	-	
自動車税環境性能割交付金	880	0.0	880	0.1	釧産税	-	-	-	
法人事業税交付金	277	0.0	277	0.0	特別土地保有税	-	-	-	
地方特例交付金	947	0.0	947	0.1	法定外普通税	-	-	-	
個人住民税減収補填特例交付金	387	0.0	387	0.0	目的税	-	-	-	
自動車税減収補填特例交付金	382	0.0	382	0.0	法定目的税	-	-	-	
軽自動車税減収補填特例交付金	178	0.0	178	0.0	入湯税	-	-	-	
地方交付税	1,596,119	46.0	1,434,763	84.9	事業所税	-	-	-	
普通交付税	1,434,763	41.3	1,434,763	84.9	都市計画税	-	-	-	
特別交付税	161,356	4.6	-	-	水利地益税等	-	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	法定外目的税	-	-	-	
(一般財源計)	1,850,384	53.3	1,689,028	100.0	旧法による税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	-	-	-	-	合計	173,468	100.0	-	
分担金・負担金	2,115	0.1	-	-					
使用料	21,091	0.6	-	-					
手数料	6,498	0.2	-	-					
国庫支出金	578,001	16.6	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	223,231	6.4	-	-					
財産収入	14,917	0.4	-	-					
寄附金	96,542	2.8	-	-					
繰入金	37,757	1.1	-	-					
繰越金	52,556	1.5	-	-					
諸収入	61,015	1.8	3	0.0					
地方債	529,000	15.2	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち猶予特例債	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	43,100	1.2	-	-					
歳入合計	3,473,107	100.0	1,689,031	100.0					

区分	令和2年度	令和元年度
徴収率(%)	99.8	99.2
現・計	99.2	99.5
市町村民税	100.0	99.4
純固定資産税	99.6	98.8
		99.0
		98.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	343,382	実質収支	511
下水道	74,840	再差引収支	-6,763
簡易水道	26,266	加入世帯数(世帯)	510
駐車場整備	6,320	被保険者数(人)	731
観光施設	3,447	被保険者	71
国民健康保険	42,096	1人当り	5
その他	190,413	保険税(料)収入額	489
		国庫支出金	
		保険給付費	

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	41,273	1.2	-	41,273	
総務費	1,224,705	35.5	363,788	601,694	
民生費	608,442	17.7	18,214	429,009	
衛生費	167,537	4.9	4,011	154,800	
労働費	-	-	-	-	
農林水産業費	115,250	3.3	40,875	61,551	
商工費	34,511	1.0	-	29,596	
土木費	299,167	8.7	185,622	119,798	
消防費	315,836	9.2	180,766	135,758	
教育費	165,272	4.8	7,950	138,573	
災害復旧費	62,758	1.8	-	18,404	
公債費	411,211	11.9	-	406,641	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	3,445,962	100.0	801,226	2,137,097	

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1,018,787	29.6	898,642	884,136	51.0
人件費	463,782	13.5	436,262	429,960	24.8
うち職員給	229,428	6.7	219,285	-	-
扶助費	143,794	4.2	55,739	47,535	2.7
公債費	411,211	11.9	406,641	406,641	23.5
元利償還金	411,211	11.9	406,641	406,641	23.5
うち元金	394,094	11.4	389,524	389,524	22.5
うち利子	17,117	0.5	17,117	17,117	1.0
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	1,563,191	45.4	1,033,569	731,343	42.2
物件費	480,148	13.9	361,586	291,839	16.8
維持補修費	8,584	0.2	1,922	1,815	0.1
補助費等	626,006	18.2	313,601	169,642	9.8
うち一部事務組合負担金	60,069	1.7	59,669	38,821	2.2
繰出金	343,382	10.0	303,915	268,047	15.5
積立金	103,171	3.0	52,545	-	-
投資・出資金・貸付金	1,900	0.1	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	863,984	25.1	204,886	-	-
うち人件費	27,094	0.8	27,094	-	-
普通建設事業費	801,226	23.3	186,482	-	-
うち補助	251,015	7.3	18,753	-	-
うち単独	498,476	14.5	164,894	-	-
災害復旧事業費	62,758	1.8	18,404	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	3,445,962	100.0	2,137,097	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和2年度 高知県東洋町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	3,446	3,461	▲ 15	201	38	4,093	
2 東洋町住宅新築資金等貸付事業	48	7	41	▲ 185	-	-	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							実質赤字額
計 一般会計等(純計)	3,494	3,468	26	16		4,093	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1 東洋町国民健康保険事業	478	477	1	1	42	-	-	-	
2 東洋町介護保険事業	607	583	24	24	112	-	-	-	
3 東洋町介護サービス事業	13	13	0	-	7	-	-	-	
4 東洋町後期高齢者医療保険事業	50	49	1	1	70	-	-	-	
5 東洋町簡易水道事業	106	105	1	0	26	514	306	-	法非適用企業
6 東洋町下水道事業	202	201	1	0	75	750	615	-	法非適用企業
7 東洋町観光施設事業	61	61	0	0	10	-	-	-	法非適用企業
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									連結実質赤字額
計 公営企業会計等				26		1,264	921		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
1 安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合	503	495	8	8	-	-	-	
2 高知県広域食肉センター事務組合	15	13	2	2	-	-	-	
3 安芸広域市町村圏事務組合・一般会計	962	913	49	49	-	-	-	
4 安芸広域市町村圏事務組合・滞納整理事業特別会計	41	41	0	0	-	-	-	
5 こうち人づくり広域連合	125	113	12	12	-	-	-	
6 高知県市町村総合事務組合・一般会計	5,261	4,318	943	943	3	-	-	
7 高知県市町村総合事務組合・交通災害共済事業特別会計	8	8	0	0	-	-	-	
8 高知県後期高齢者医療広域連合・一般会計	65	57	8	8	-	-	-	
9 高知県後期高齢者医療広域連合・特別会計	143,922	139,309	4,613	4,613	-	-	-	
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				5,635				

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1 東洋リゾート	▲ 4	▲ 2	5	-	-	-	-	-	
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
計 地方公社・第三セクター等							5		

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

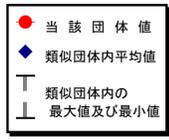
公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率 (千円・%)					将来負担比率 (千円・%)				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	分母比</					

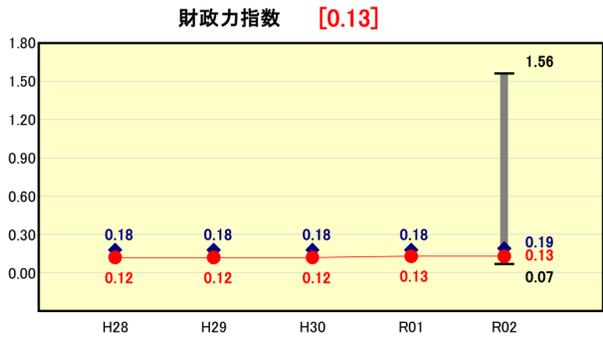
# (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	2,307	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,287	人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	74.02	k㎡	実質公債費比率	12.7	%
歳入総額	3,473,107	千円	将来負担比率	67.8	%
歳出総額	3,445,962	千円	市町村類型	H28 I-O H29 I-O H30 I-O	
実質収支	16,129	千円	(年度毎)	R01 I-O R02 I-O	
標準財政規模	1,729,703	千円			
地方債現在高	4,093,433	千円			



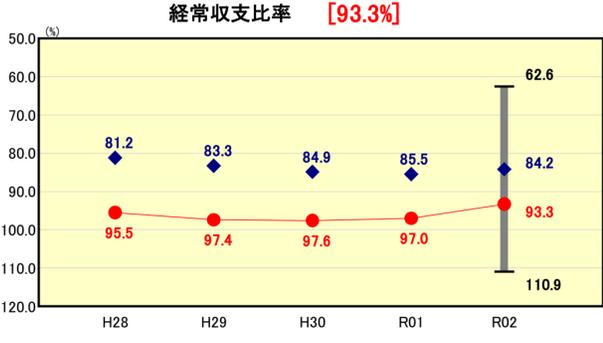
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

## 財政力



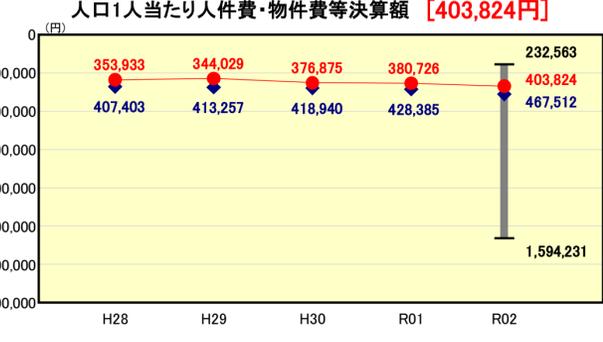
**財政力指数の分析欄**  
 財政力指数は平成28年度から横ばいとなっており、類似団体と比較してやや下回っている現状である。本町は過疎化が進んでおり、労働力人口の低下や、基幹産業である一次産業の低迷などが原因として挙げられる。高知県と連携した一次産業の振興による産業基盤の強化や、使用料や住宅新築資金貸付金などの徴収強化に取り組み財政の健全化に努める。

## 財政構造の弾力性



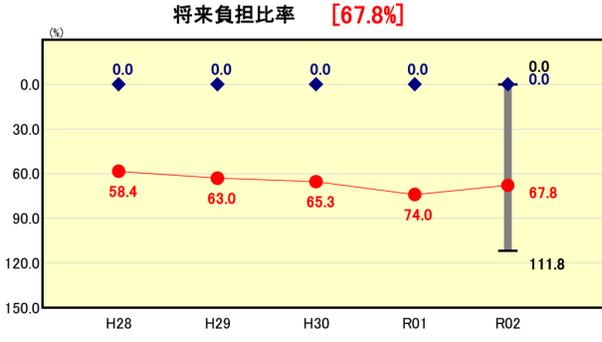
**経常収支比率の分析欄**  
 公債費を筆頭に経常経費が町財政を圧迫している状況であり、類似団体と比較して大きく上回っている状況ではあるが、前年度から▲3.7%となっており改善している。引き続き、経常経費を圧迫している公共施設の修繕費や各システムの保守経費・使用料の見直しを推進し、増加していく見通しである公債費により財政が圧迫されないように、歳入特定財源の確保を筆頭に起債額の抑制に取り組む。

## 人件費・物件費等の状況



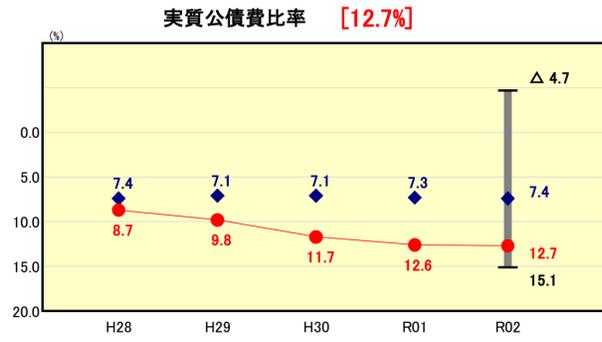
**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 人件費に関しては、令和元年度に2名が退職したことにより、前年度より減額となった。職員のいびつな年齢構成割合を継続して平準化していくとともに、定員適正化計画に基づき人件費の抑制も引き続き行っていく。物件費に関しては、情報機器の保守運用経費等を筆頭に年々財政が硬直化している傾向があり、物件費全体として業務見直し等により削減していく必要がある。

## 将来負担の状況



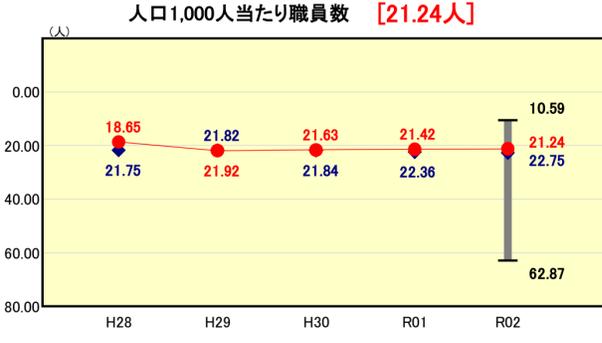
**将来負担比率の分析欄**  
 将来負担比率について、令和元年度までは数値が悪化していたが、令和2年度決算では、前年度から6.2%減少している。算定の中身を見ると、地方債の現在高は134,906千円増加しているものの、退職手当負担見込額が25,799千円減少したことや、充当可能基金が51,271千円増加したこと、交付税算入見込額が67,711千円増加したことにより数値が改善している。

## 公債費負担の状況



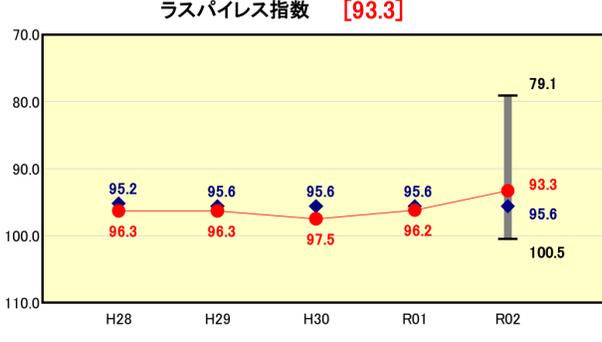
**実質公債費比率の分析欄**  
 平成27年度までは類似団体と同水準であったが、平成28年度より本町の数値が悪化し乖離が生じてきている。主な要因は、平成28年度より光ケーブル整備事業(過疎対策事業債)の償還が始まったことが挙げられ、償還期限の令和6年度まで数値が悪化する恐れがある。

## 定員管理の状況



**人口1,000人当たり職員数の分析欄**  
 類似団体平均とは大きく変わらない状況であるが、近隣市町村の動向を見ながら適正な定員管理を行っていく必要がある。

## 給与水準 (国との比較)



**ラスパイレス指数の分析欄**  
 ラスパイレス指数は100を下回っており、類似団体平均とほぼ同じであったが、今後も引き続き給与の適正化に努めていく。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

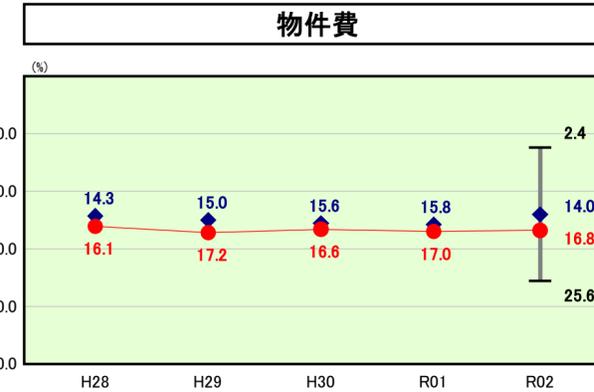
高知県東洋町

## 経常収支比率の分析

人口	2,307	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,287	人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	74.02	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	12.7	%
歳入総額	3,473,107	千円	将来負担比率	67.8	%
歳出総額	3,445,962	千円	市町村類型	H28 I-O H29 I-O H30 I-O	
実質収支	16,129	千円	(年度毎)	R01 I-O R02 I-O	
標準財政規模	1,729,703	千円			
地方債現在高	4,093,433	千円			

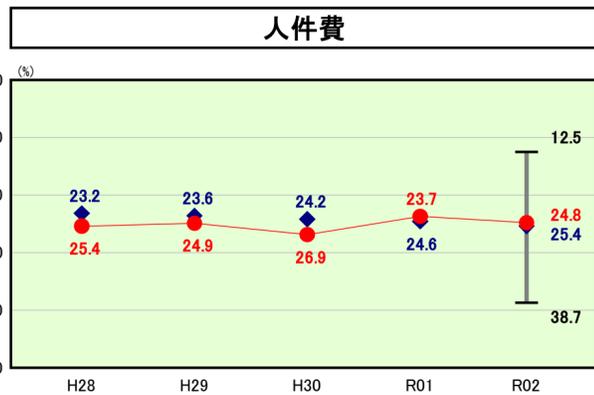
● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の  
L 最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



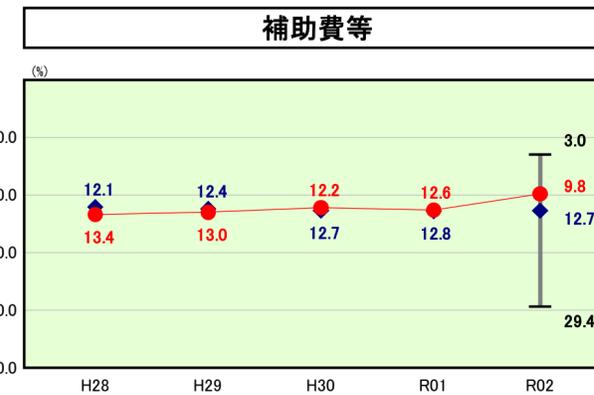
類似団体内順位 135/167  
全国平均 14.3  
高知県平均 11.5

**物件費の分析欄**  
各種システム関連の導入や更新・保守経費などを筆頭に経常経費を圧迫しており、類似団体平均を上回る結果となっている。必要経費の確保のために、日常的な経常経費の削減や、業務の見直し等に取り組んでいく。



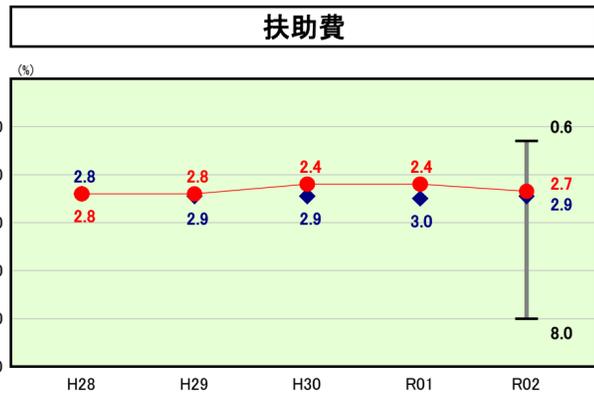
類似団体内順位 70/167  
全国平均 26.8  
高知県平均 26.5

**人件費の分析欄**  
令和元年度において2名が退職したことにより、2年度では類似団体よりも低い数値となっている。40代、50代の職員数の割合が多く、新規職員の採用など定員適正化管理を行った改善が見られ、今後も引き続き適正な管理を行っていく。



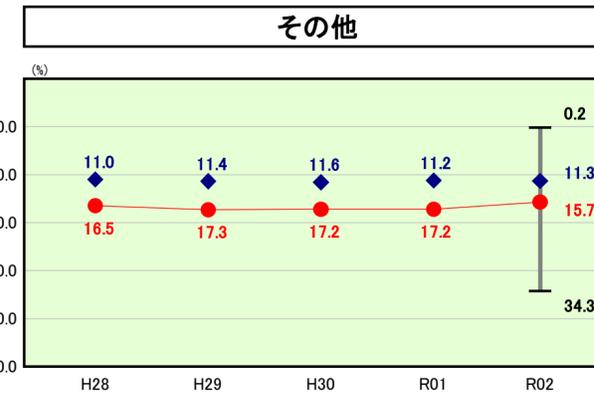
類似団体内順位 42/167  
全国平均 10.7  
高知県平均 10.0

**補助費等の分析欄**  
平成28年度から類似団体平均とほぼ同値であったが、令和2年度では本町の方が低くなっている。本町は、消防業務を室戸市に委託しているほか、広域でゴミ処理に要する費用負担を行っており、経常経費の削減が困難な状況となっている。住民や他団体への補助金等の支出を慎重に行い、バランスを取っていく必要がある。



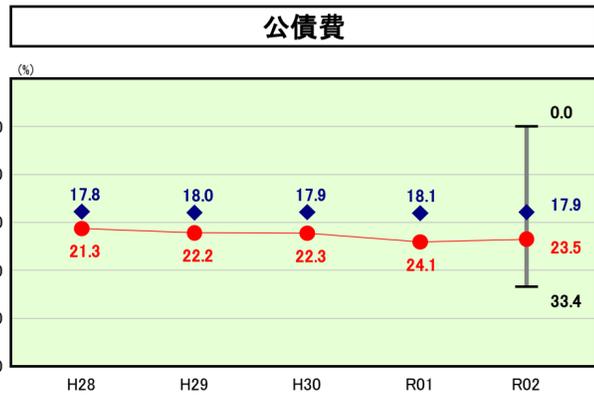
類似団体内順位 94/167  
全国平均 12.4  
高知県平均 10.4

**扶助費の分析欄**  
過去5年間に於いて、類似団体とほぼ同様であるが、障害福祉関連費の決算額により影響を受けやすい構造にあるため、今後社会保障経費関連の事業費は慎重に判断していく必要がある。



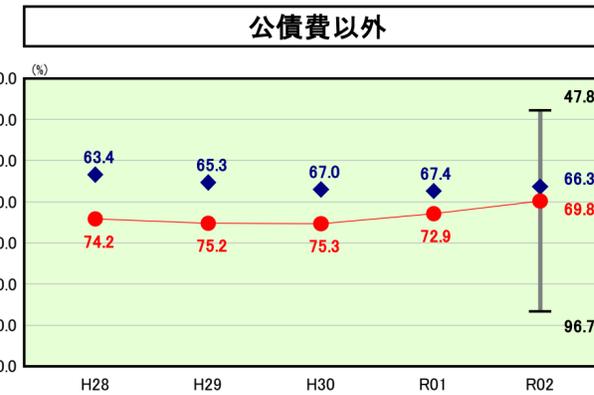
類似団体内順位 137/167  
全国平均 12.6  
高知県平均 14.2

**その他の分析欄**  
その他の経費について、類似団体平均を上回っているのは繰入金が多くなっていることが挙げられる。主な繰出先は、国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、下水道事業会計、簡易水道事業会計であり、保険料や使用料の適正化や徴収強化に取り組み、普通会計からの赤字補てん繰入金を削減していく必要がある。簡易水道事業においては、令和2年度から水道料金の見直しを行っており、前年度から数値が減少している。



類似団体内順位 148/167  
全国平均 16.3  
高知県平均 19.8

**公債費の分析欄**  
類似団体平均と逆転した平成28年度からは光ケーブル整備事業(償還額120,000千円/年)の償還が始まっており、今後も類似団体平均よりも悪化する恐れがある。



類似団体内順位 109/167  
全国平均 76.8  
高知県平均 72.6

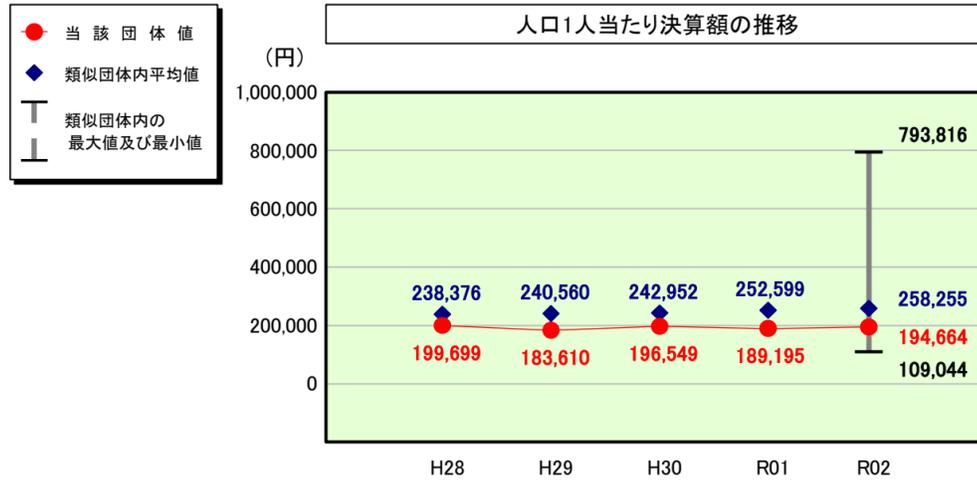
**公債費以外の分析欄**  
公債費を除く類似団体平均との差は年々解消している傾向にある。経常経費の大部分を占める人件費は定員適正化計画に基づく抑制や、事業見直しによる歳出削減に取り組んでいく。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

高知県東洋町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



## 人件費及び人件費に準ずる費用

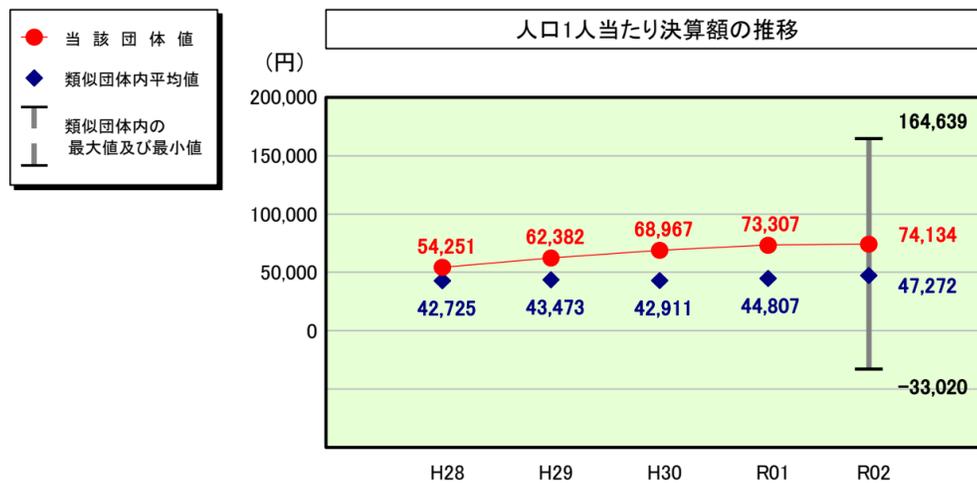
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	463,782	201,033	224,098	▲ 10.3
一部事務組合負担金 (補助費等)	6,202	2,688	32,087	▲ 91.6
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	3,587	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	-	-	11,579	-
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	27,094	11,744	4,496	161.2
▲退職金	▲ 47,987	▲ 20,801	▲ 17,592	18.2
合計	449,091	194,664	258,255	▲ 24.6

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	21.24	22.75	▲ 1.51
ラスパイレス指数	93.3	95.6	▲ 2.3

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

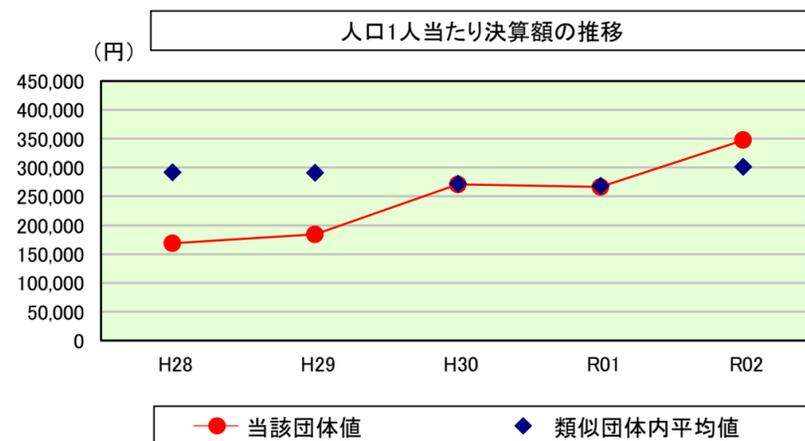


## 公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	411,211	178,245	146,295	21.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	4	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	85,278	36,965	31,593	17.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	15,587	6,756	3,914	72.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,348	-
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	27	-
▲特定財源の額	▲ 4,570	▲ 1,981	▲ 7,201	▲ 72.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 336,478	▲ 145,851	▲ 128,709	13.3
合計	171,028	74,134	47,272	56.8

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H28	443,100	168,671	▲ 19.3	291,945	4.1	▲ 23.4
うち単独分	246,186	93,714	4.0	127,651	0.3	3.7
H29	470,108	183,995	9.1	291,173	▲ 0.3	9.4
うち単独分	183,591	71,856	▲ 23.3	119,071	▲ 6.7	▲ 16.6
H30	662,992	270,609	47.1	271,581	▲ 6.7	53.8
うち単独分	379,104	154,736	115.3	117,844	▲ 1.0	116.3
R01	634,060	266,300	▲ 1.6	268,375	▲ 1.2	▲ 0.4
うち単独分	304,069	127,706	▲ 17.5	119,602	1.5	▲ 19.0
R02	801,226	347,302	30.4	301,035	12.2	18.2
うち単独分	498,476	216,071	69.2	154,376	29.1	40.1
過去5年間平均	602,297	247,375	13.1	284,822	1.6	11.5
うち単独分	322,285	132,817	29.5	127,709	4.6	24.9

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

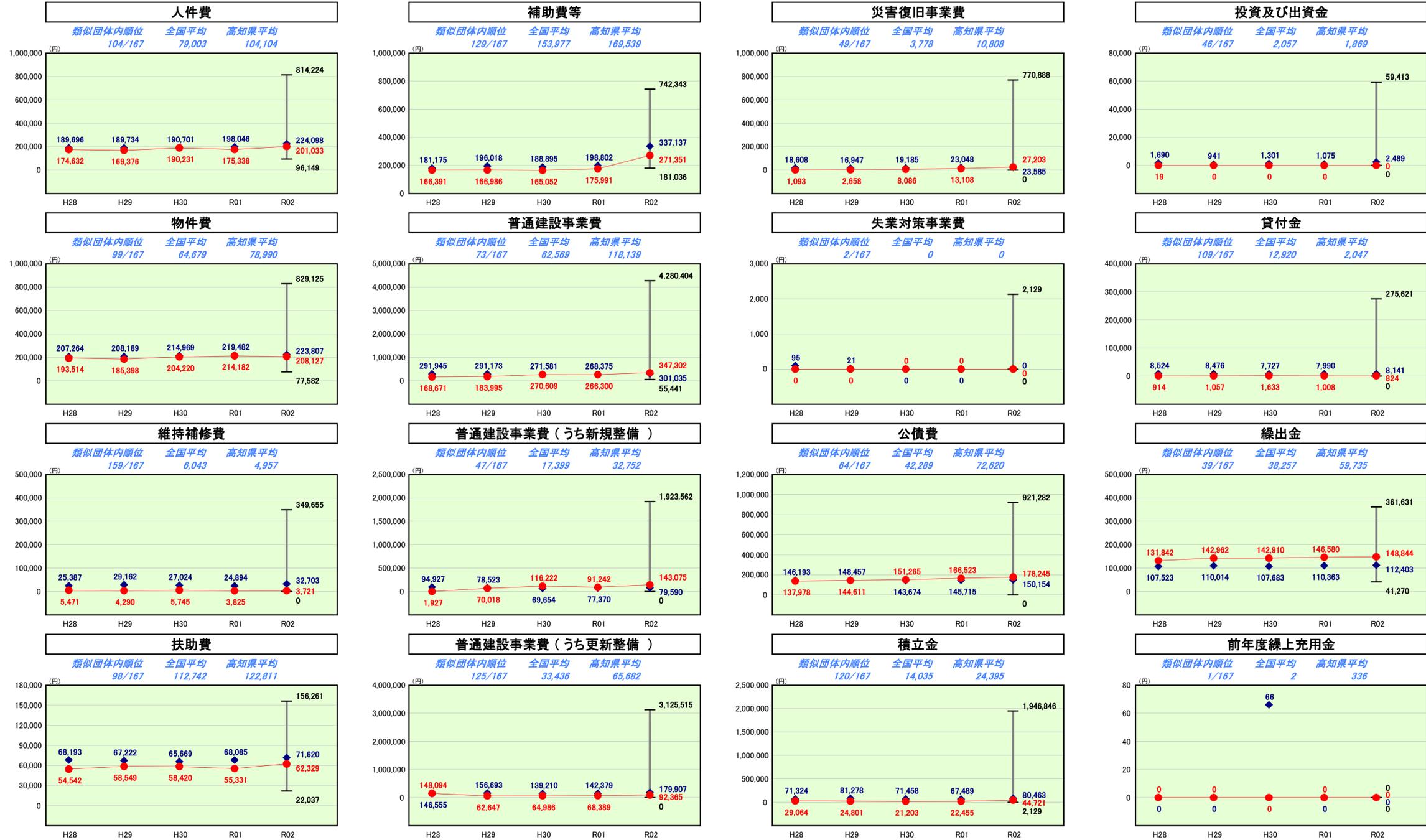
令和2年度

高知県東洋町

人口	2,307人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	2,287人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	74.02km <sup>2</sup>	実質公債費比率	12.7%
歳入総額	3,473,107千円	将来負担比率	67.8%
歳出総額	3,445,962千円	市町村類型	H28 I-O H29 I-O H30 I-O
実質収支	16,129千円	(年度毎)	R01 I-O R02 I-O
標準財政規模	1,729,703千円		
地方債現在高	4,093,433千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**性質別歳出の分析欄**  
 住民一人当たりのコストについて類似団体との乖離が特に大きいものは、普通建設事業(うち新規整備)、補助費、繰出金である。普通建設事業(うち新規整備)では、令和2年度に集落活動センターなど建設事業の出来高高い、野根地区防災避難施設建設事業の完成により、類似団体平均より63,485千円多くなっている。集落活動センターなどについては、令和3年度に完成予定であり、3年度決算においても類似団体平均値よりも多くなる見込みである。補助費においては、令和2年度決算では各市町村が独自の新型コロナウイルス感染症対策を行っており、本町はその中で補助費による施策が類似団体平均と比べて低くなっていることがわかる。繰出金においては、国保会計では本町の特徴として住民一人当たりの医療費が高くなっていることもあり繰出金もコストが高くなっている。また、介護保険事業においても、介護サービス料が高知県内の団体と比較しても高くなっており、繰出金の増加につながっている。住民の健康増進に取り組むほか、適正な保険料の設定に取り組んでいく。

# (6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

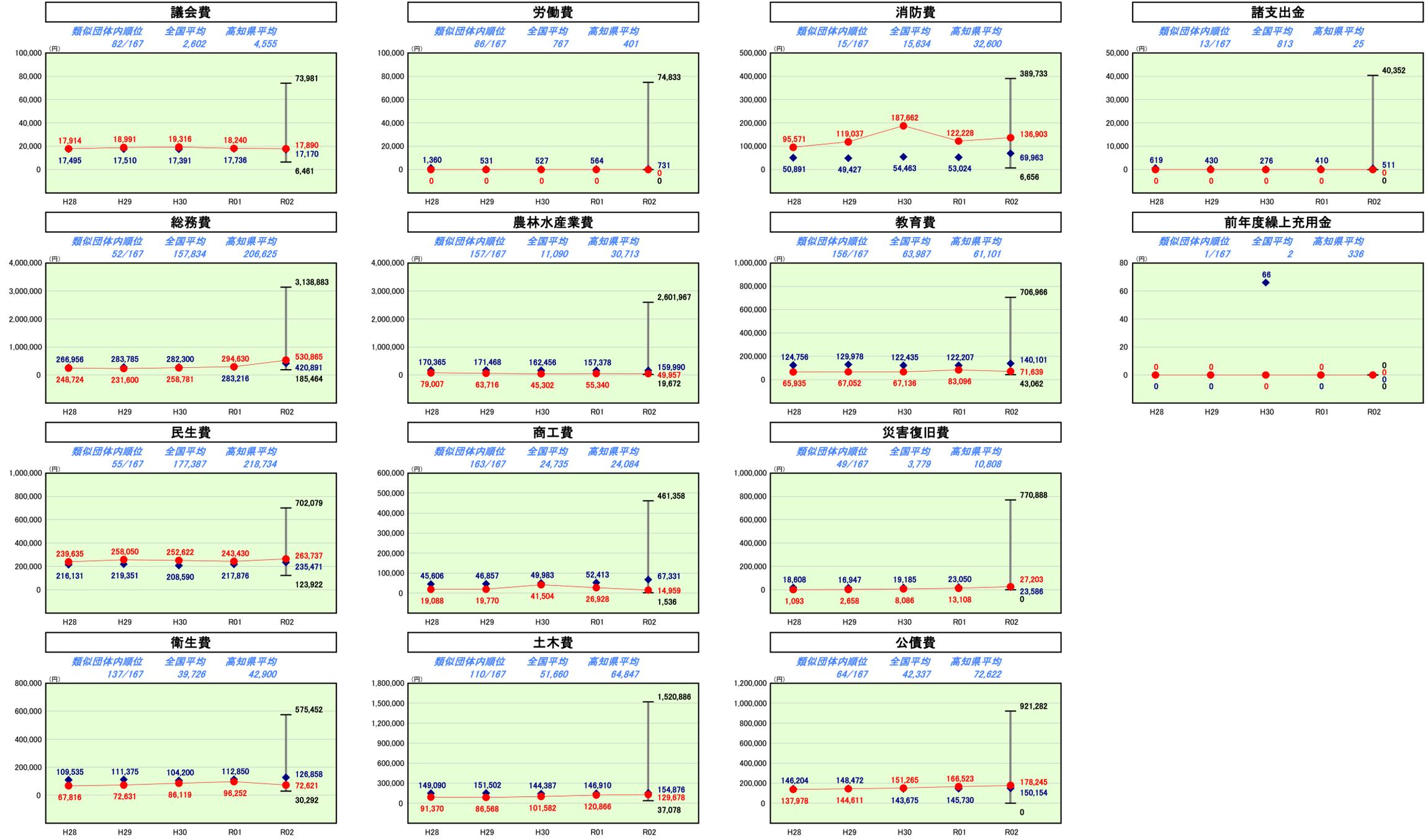
令和2年度

高知県東洋町

人口	2,307人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	2,287人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	74.02km <sup>2</sup>	実質公債費比率	12.7%
歳入総額	3,473,107千円	将来負担比率	67.8%
歳出総額	3,445,962千円	市町村類型	H28 I-O H29 I-O H30 I-O
実質収支	16,129千円	(年度毎)	R01 I-O R02 I-O
標準財政規模	1,729,703千円		
地方債現在高	4,093,433千円		

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



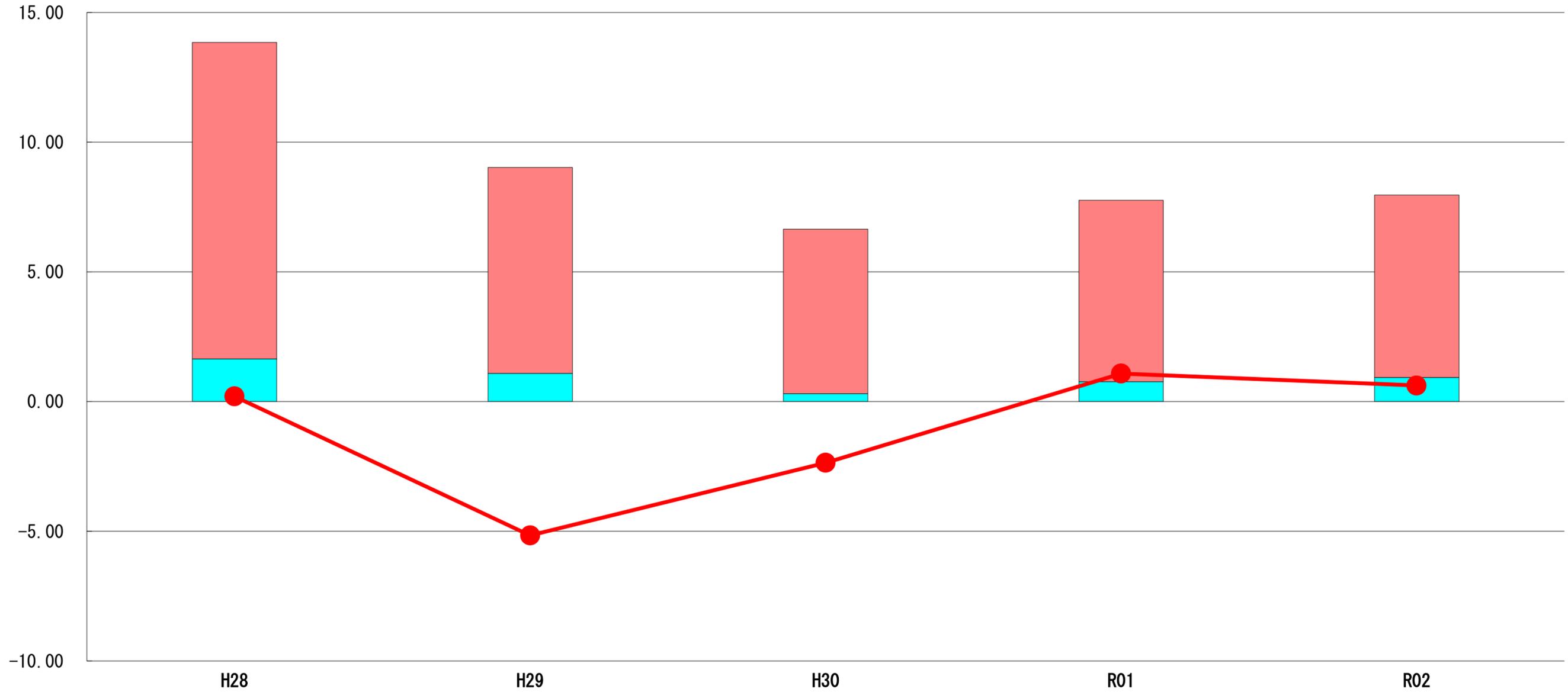
**目的別歳出の分析欄**  
 住民一人当たりのコストについて類似団体との乖離が特に大きいものは、農林水産業費、総務費、消防費である。農林水産業費では、本町の基幹産業である一方で、従事者が減少してきており決算規模も小さくなってきているが、全国平均、高知県平均と比べ高くなっている。施設等の維持管理、従事者への補助事業など過不足ないよう取り組んでいく。総務費については、前回までは類似団体平均値とほぼ同じであったが、令和2年度決算では、109,974千円上回っている。要因としては、集落活動センター建設事業費が180,300千円計上されたことによる。消防費について、本町は南海トラフ地震による甚大な被害が想定され、住民の命を守るため対策を講じており、類似団体との比較において平均値を上回っている。令和2年度決算では、野根地区防災避難施設建設事業で86,610千円を計上しており、前年度より数値が増加している。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

令和2年度

高知県東洋町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H28	H29	H30	R01	R02
 財政調整基金残高		12.20	7.94	6.35	6.99	7.03
 実質収支額		1.65	1.09	0.30	0.77	0.93
 実質単年度収支		0.20	▲ 5.16	▲ 2.36	1.08	0.62

## 分析欄

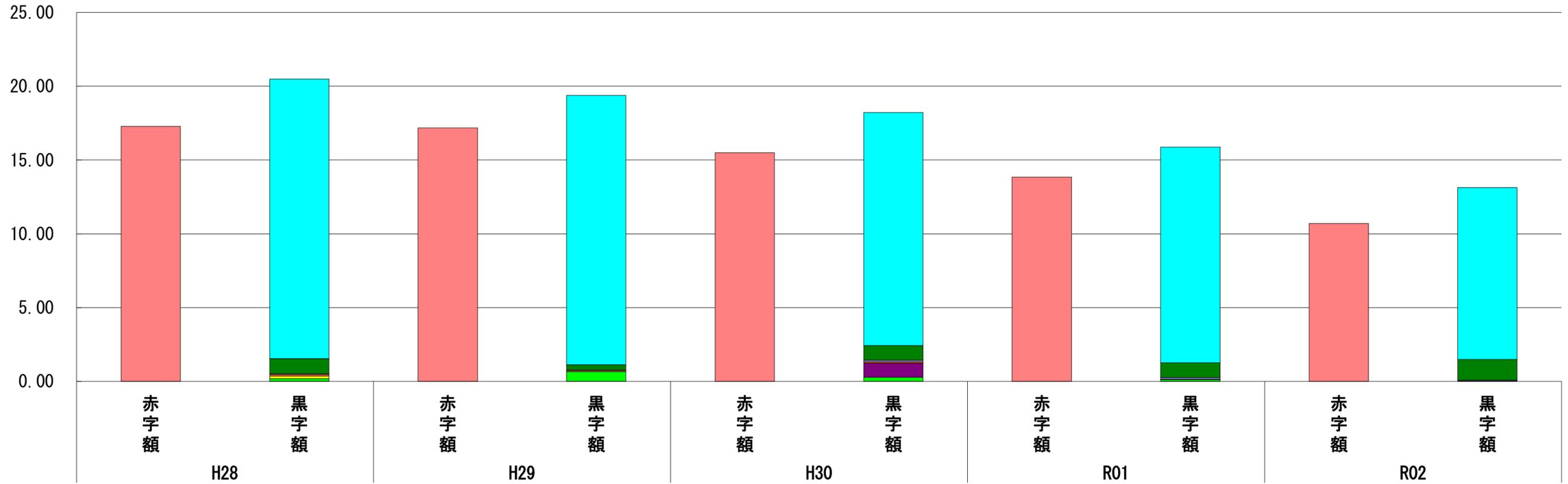
標準財政規模に対する財政調整基金残高比率は平成28年度より減少していたが、令和元年度からは増加となっている。その要因として、令和2年度では財政調整基金の取り崩しを行っておらず、7,100千円の積立を行っていることによる。今後も事業見直しによる経費削減や、特定財源の確保を念頭に置き、決算時の取り崩し額を減らしていく必要がある。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和2年度

高知県東洋町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H28	H29	H30	R01	R02
東洋町住宅新築資金等貸付事業		▲ 17.29	▲ 17.17	▲ 15.50	▲ 13.84	▲ 10.70
一般会計		18.94	18.26	15.80	14.61	11.64
東洋町介護保険事業		1.03	0.35	0.98	1.00	1.41
東洋町後期高齢者医療保険事業		0.05	0.05	0.11	0.10	0.04
東洋町国民健康保険事業		0.10	0.06	0.08	0.03	0.02
東洋町簡易水道事業		0.19	0.01	0.00	0.00	0.02
東洋町下水道事業		0.00	0.00	0.98	0.02	0.00
東洋町観光施設事業		0.18	0.65	0.27	0.11	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 分析欄

住宅新築資金等貸付事業のみ赤字額が発生している。赤字額は年々減少しており、令和2年度決算で185,233千円である。令和2年度では徴収強化による貸付金元利収入が17,352千円あり、滞納整理による不能欠損を54,045千円執行した。今後も滞納整理を継続して行い、早急な赤字決算の解消に努める。

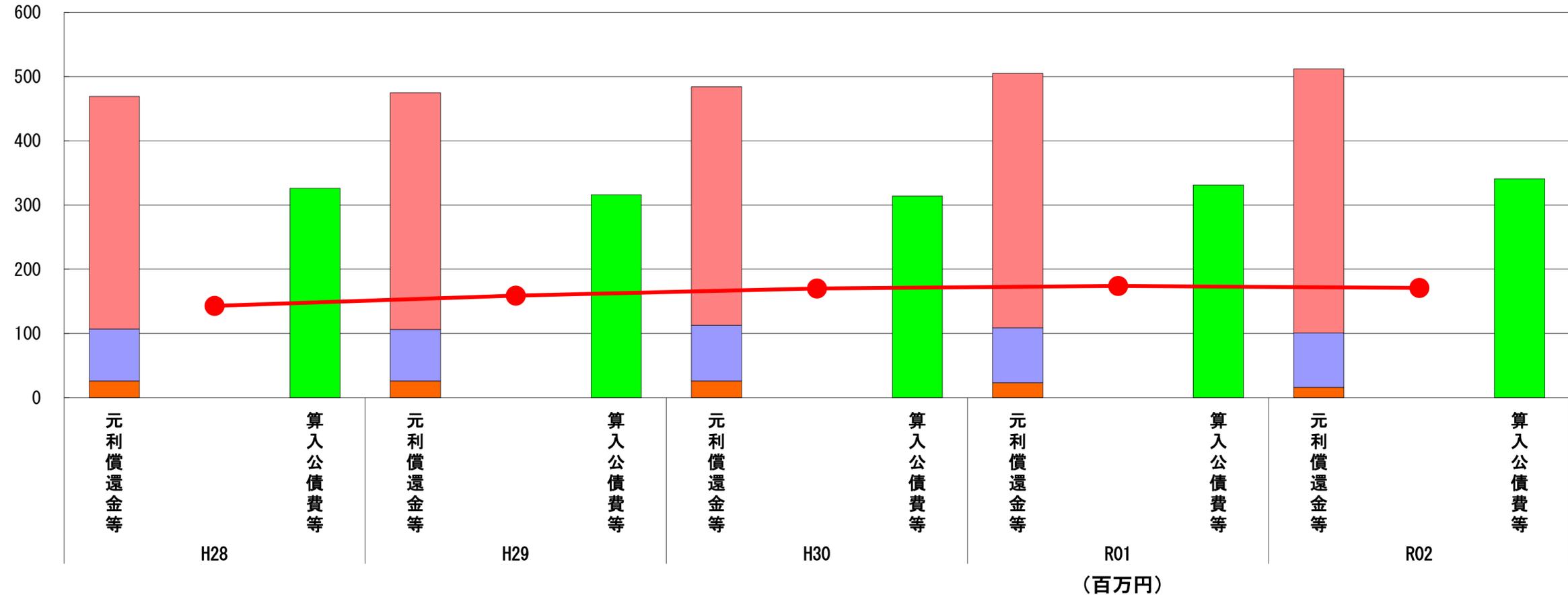
※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和2年度

高知県東洋町

(百万円)



分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
元利償還金等(A)	元利償還金		362	369	371	396	411
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		81	80	87	86	85
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		26	26	26	23	16
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		326	316	314	331	341
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		143	159	170	174	171

**分析欄**

実質公債費比率は年々増加となっており、その要因として元利償還金の増加が挙げられる。平成28年度からは光ケーブル整備事業（過疎債1,097,200千円）の償還が始まり、今後も増加していく恐れがある。前述事業の償還は令和6年度までであり、令和6年度を念頭に置きながら、起債借入と償還のバランスや据置期間を考慮しながら財政運営を行っていく。

※1 令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
(参考)

※2 減債基金積立状況等		年度	H27末	H28末	H29末	H30末	R01末
	減債基金残高(注)						
	減債基金積立相当額						

**分析欄**

該当なし。

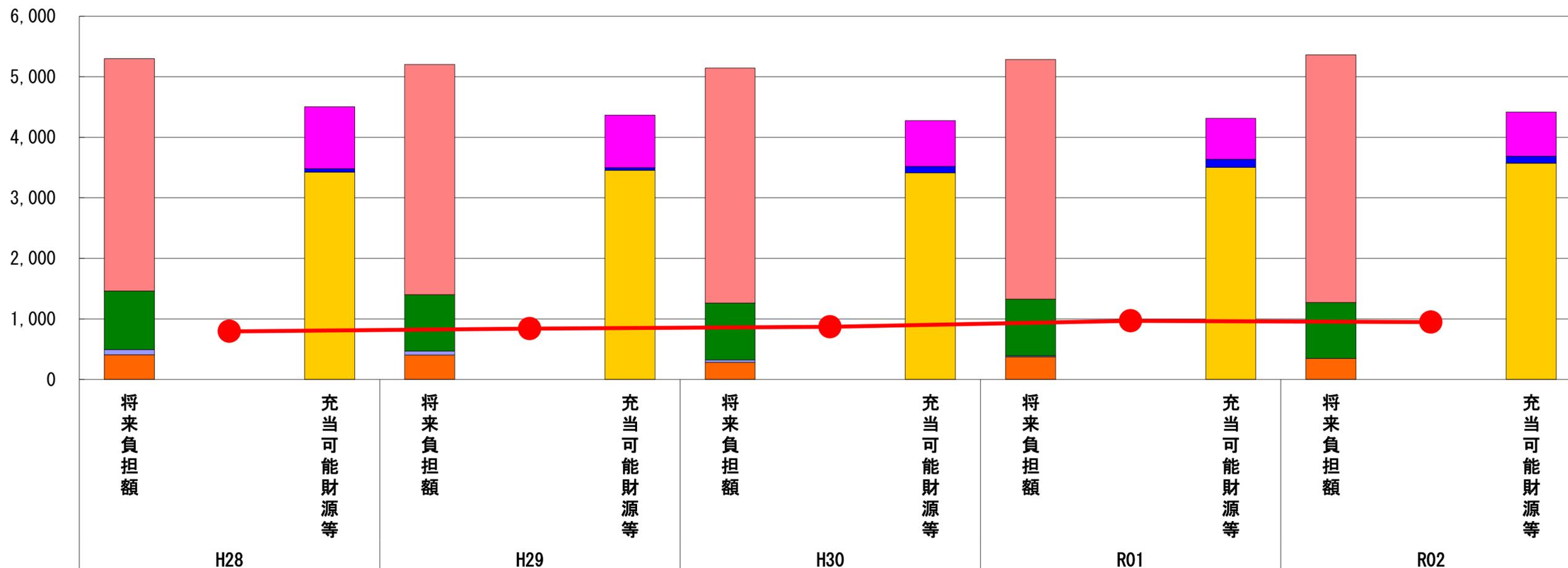
(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。  
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和2年度

高知県東洋町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		3,838	3,803	3,881	3,959	4,093
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		968	934	941	936	921
	組合等負担等見込額		88	63	38	15	-
	退職手当負担見込額		406	403	283	374	349
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,024	867	752	680	731
	充当可能特定歳入		55	43	111	132	115
	基準財政需要額算入見込額		3,427	3,456	3,411	3,504	3,572
(A) - (B)	将来負担比率の分子		793	837	868	968	945

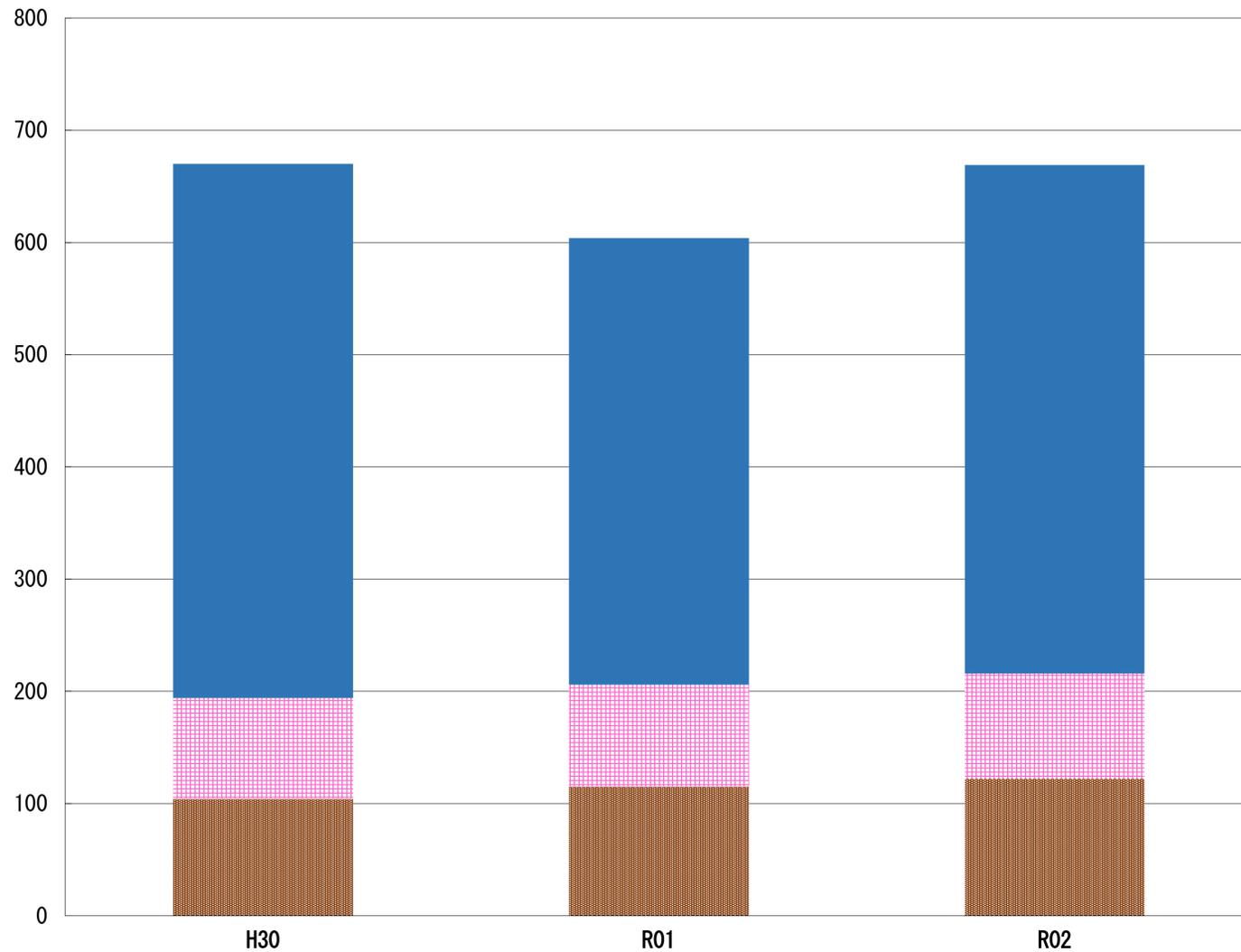
## 分析欄

将来負担額は依然として充当可能財源等を大きく上回っている状況である。特に地方債の現在高が大きな負担となっており、今後も起債の発行に関して、現年の償還額とのバランスを考慮しながら注意しなければならない。また、充当可能財源等についても、今後の財政需要に備えるために基金残高が増額となるよう取り組んでいく。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H30	R01	R02
財政調整基金		104	115	122
減債基金		90	91	94
その他特定目的基金		476	398	453
施設等整備基金		142	96	133
ふるさとづくり基金		75	95	132
地域福祉基金		89	49	52
ふるさと創生育英基金		28	28	29
ふるさと創生基金		26	27	27
基金残高合計		671	603	669

令和2年度

高知県東洋町

## 基金全体

（増減理由）

令和2年度決算において取り崩したものは、長寿・福祉社会づくりを推進するための地域福祉基金の取崩（3,487千円）、南海トラフ地震対策へ充当するための防災対策加速化基金（34,270千円）である。

また、積立額が大きかったものは、ふるさと納税の一部を積み立てるふるさとづくり基金への積立（37,100千円）、今後の公共施設の更新等に備えるために施設等整備基金への積立（36,626千円）、森林環境整備へ取り組むため譲与税を財源とした森林環境譲与税積立基金への積立（9,739千円）、決算剰余金を財政調整基金に積立（7,100千円）である。

（今後の方針）

自主財源が乏しい本町の財政において基金は重要な役割を担っており、慎重な基金運用を心がけている。最近の傾向として、剰余金とふるさと納税の一部を基金に積み立て、赤字補てんや大型事業への充当による取り崩しを行っており、基金残高は一定を保っている。しかし、高知県内でも本町の基金残高は最下位であり、今後も各基金の財政需要に対する備えとして基金残高の増加に努めていく。

## 財政調整基金

（増減理由）

決算剰余金を財政調整基金に積み立てているが、令和2年度決算では剰余金による積立（7,100千円）を行い、取崩が無かったため基金残高は増額となった。

（今後の方針）

今後も継続して剰余金を積み立てていく方針であり、赤字補てんによる取崩を削減し、基金の増加に努める

## 減債基金

（増減理由）

集落活動センターなど建設事業に係る過疎債発行額に対しての県交付金（2,800千円）の積立や、国債運用収益による積立（240千円）を行い増額となった。

（今後の方針）

高知県が実施している建設事業に伴う町負担分への軽減補助などを活用し基金に積立をし、今後の公債費の増加に備える。

## その他特定目的基金

（基金の用途）

- 施設等整備基金：町の施設等の整備に要する財源を円滑に調整するために積み立て、土地、建物等の取得、修繕を行う場合に取崩す。
- ふるさとづくり基金：東洋町の特色を生かした活力と個性ゆたかなまちづくり、ふるさとづくりの資金として積み立て、必要が生じた場合に基金を取り崩す。
- 地域福祉基金：地域の全ての人が健康で生きがいを持ち、安心して過ごせるような明るい活力ある長寿・福祉社会づくりを推進するために積み立て、これら地域福祉に必要なが生じた場合に取崩す。
- ふるさと創生育英基金：大学、専修学校及び専門学校に進学しようとする者のうち、品行方正、学業優秀にして経済的理由により修学困難である者のために奨学金を貸付け、能力発揮の機会を与え、有為な人材を養成し、地域社会の発展に資するために基金を取り崩す。
- ふるさと創生基金：町の多様な歴史、伝統、文化、産業を活かし、独自の・個性的な地域づくりを推進するために積立して、人材育成、伝統文化、地場産業の育成を推進する場合に基金を取り崩して充当する。

※基金残高上位5位までの基金について記載している。

（増減理由）

- 施設等整備基金：インフラ設備や公共施設の更新等に備えるため基金の積立（36,626千円）
- ふるさとづくり基金：ふるさと納税の一部を積立（37,100千円）
- 地域福祉基金：各社会保障施策に充当するため取崩（▲3,487千円）

（今後の方針）

各基金ともに、必要最低限の積立を行っていくつもりである。特に施設等整備基金は、今後インフラ設備・保有施設等の更新が控えており優先的に積立を行っていく。また、ふるさとづくり基金においても、ふるさと納税の一部を基金に積み立て、まちづくり、観光振興のために充当していく。

# (12) 市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

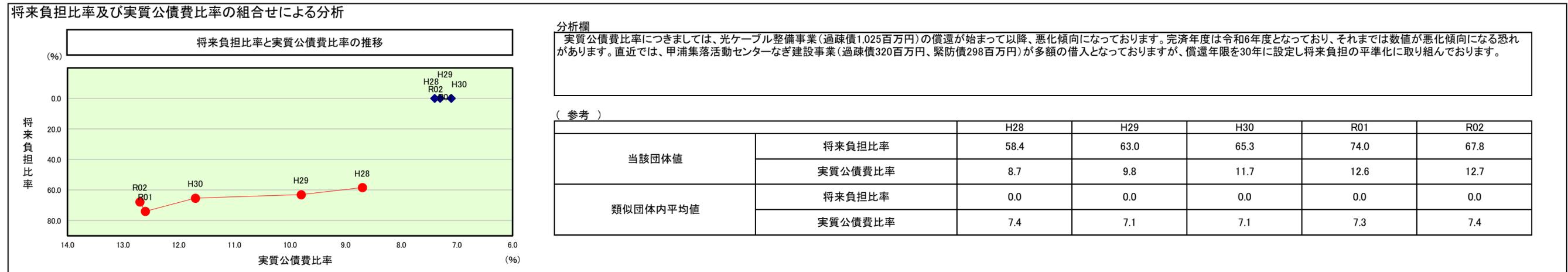
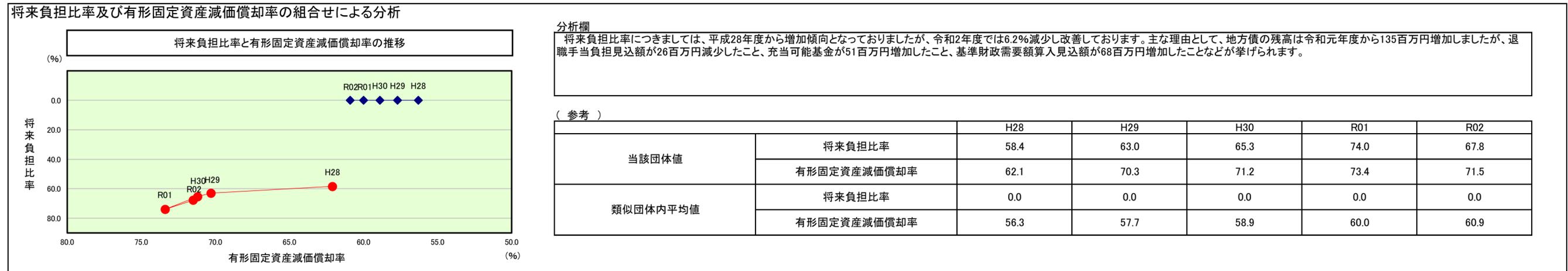
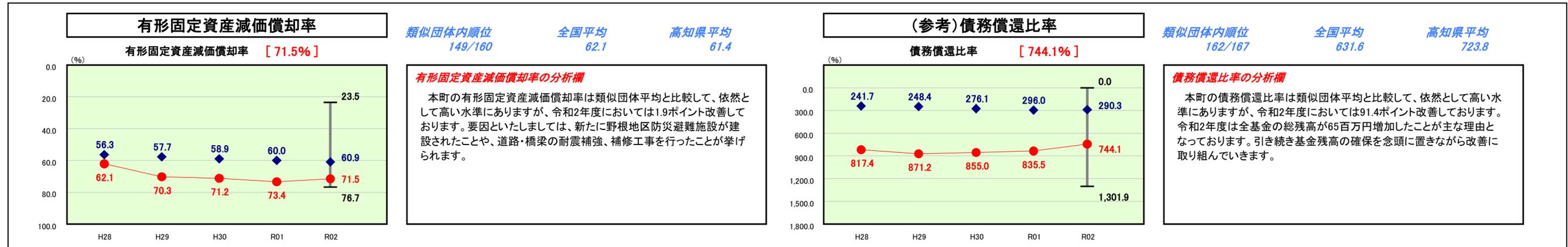
令和2年度

高知県東洋町

人口	2,307 人 (R3.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	2,287 人 (R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	74.02 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	12.7 %
歳入総額	3,473,107 千円	将来負担比率	67.8 %
歳出総額	3,445,962 千円	市町村類型	H28 I-O H29 I-O H30 I-O
実質収支	16,129 千円	(年度毎)	R01 I-O R02 I-O
標準財政規模	1,729,703 千円		
地方債現在高	4,093,433 千円		



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

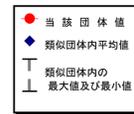


# (13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

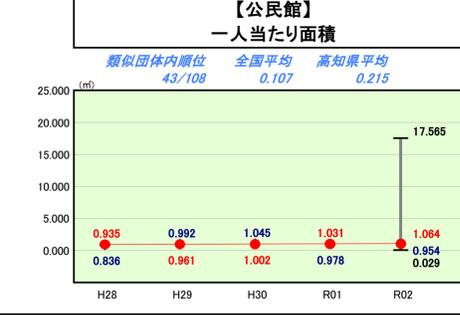
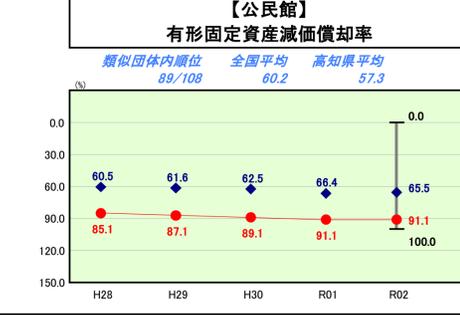
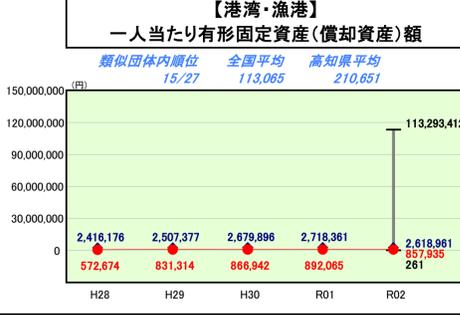
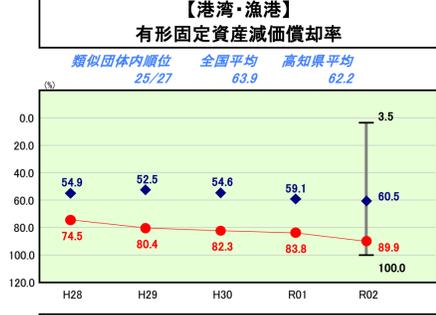
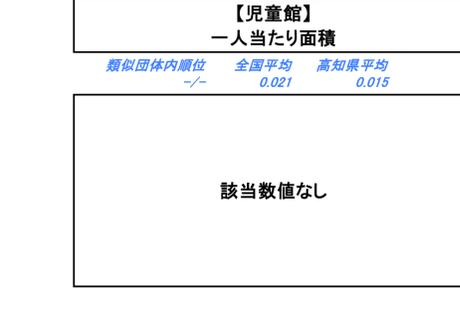
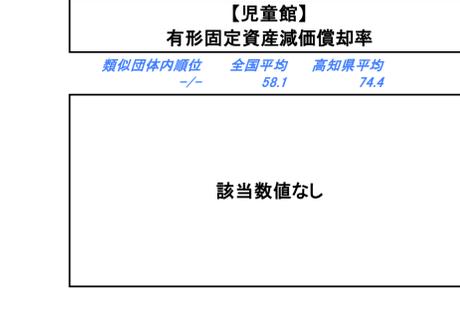
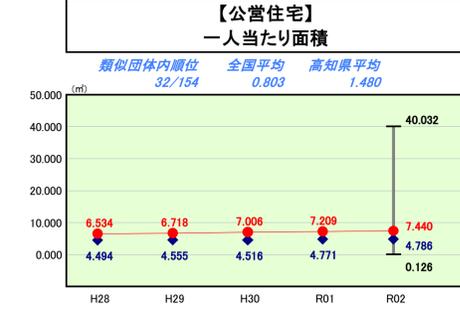
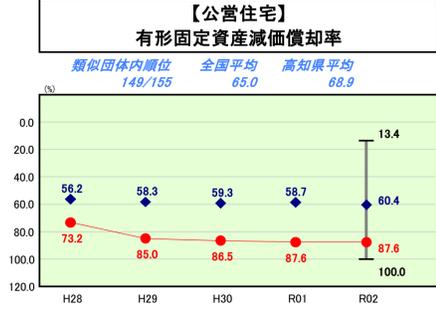
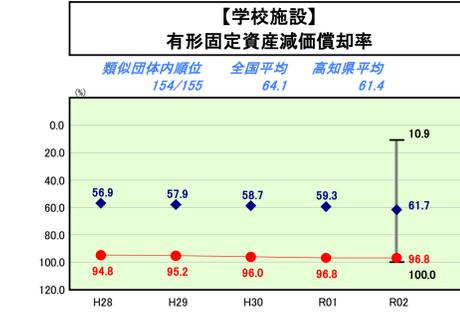
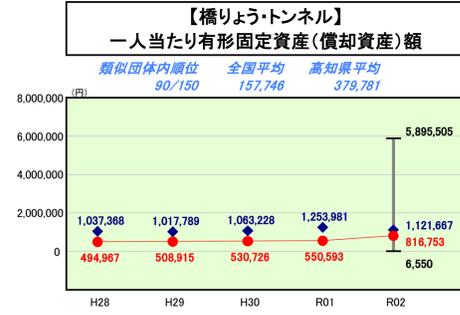
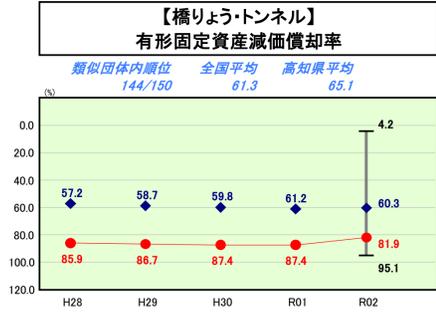
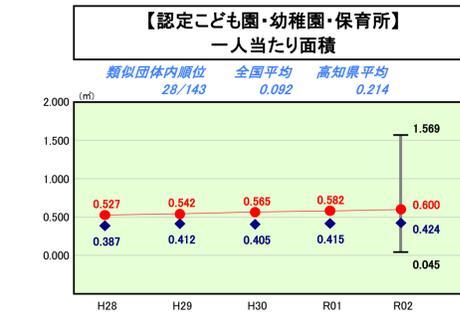
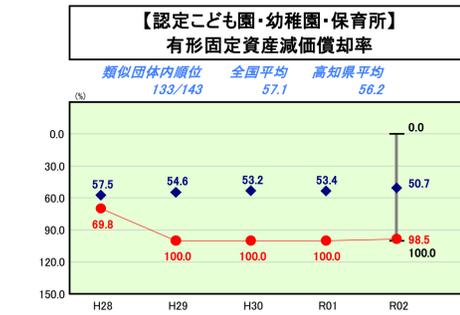
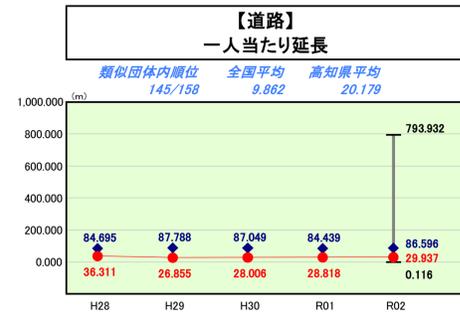
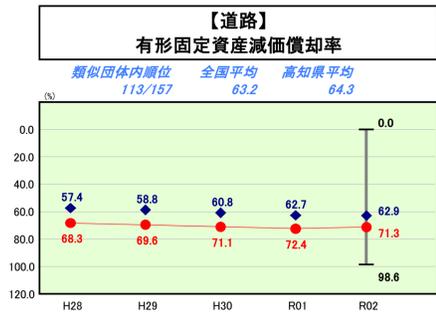
令和2年度

高知県東洋町

人口	2,307人	(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,287人	(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	74.02	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	12.7	%
歳入総額	3,473,107	千円	将来負担比率	67.8	%
歳出総額	3,445,962	千円	市町村類型	H28 I-O H29 I-O H30 I-O	
実質収支	16,129	千円	(年度毎)	R01 I-O R02 I-O	
標準財政規模	1,729,703	千円			
地方債現在高	4,093,433	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



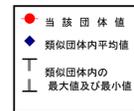
**施設情報の分析欄**  
 交通インフラである道路・橋梁については、長寿命化計画に基づき毎年長寿命化や改修を行っているため、類似団体平均と近い値になっております。住宅区域の道路についてはほぼ着手済となっておりますが依然として有形固定資産減価償却率が高くなっているのは、本町の大部分が中山間地域であり、未改修の林道を多く抱えていることに因るものであります。学校施設、保育園、公営住宅、公民館の多くは建設時から大規模改修や長寿命化の対策を行っておらず、減価償却率が100%近くになっております。今後の財政状況を注視しながら、長寿命化対策を行っていく必要があります。

# (13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

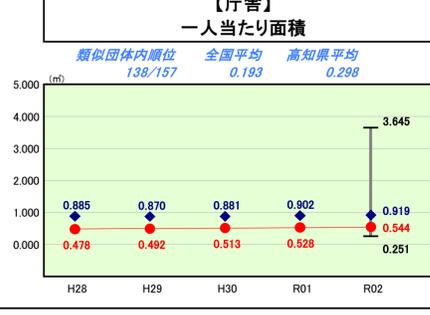
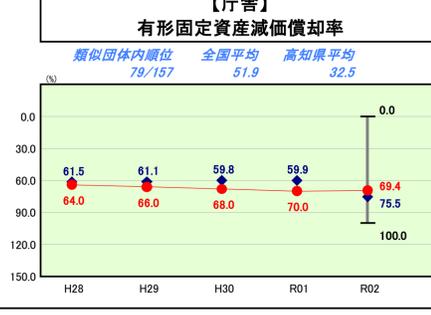
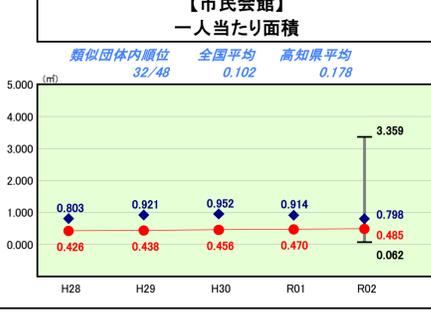
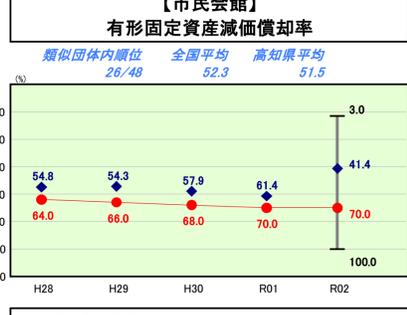
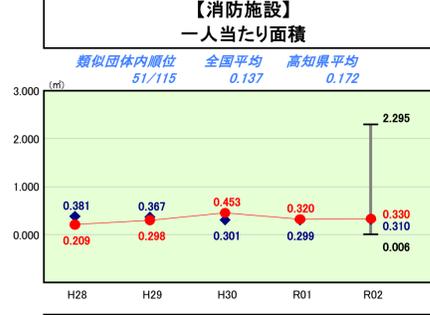
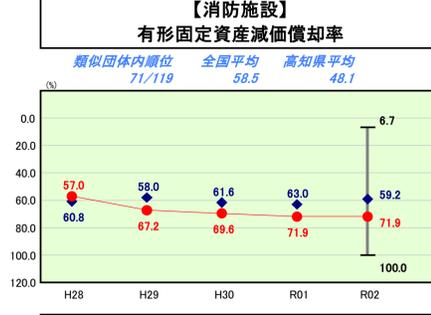
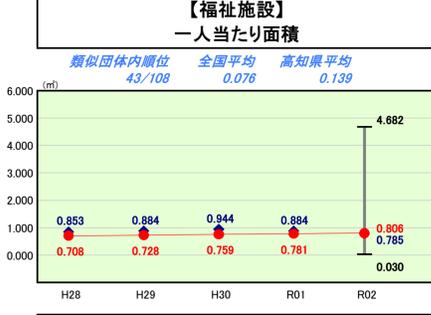
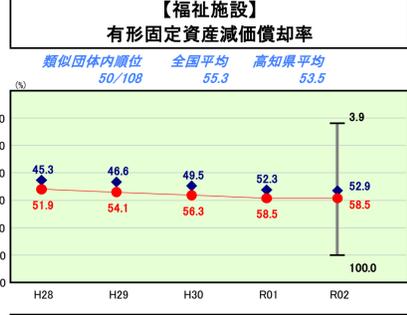
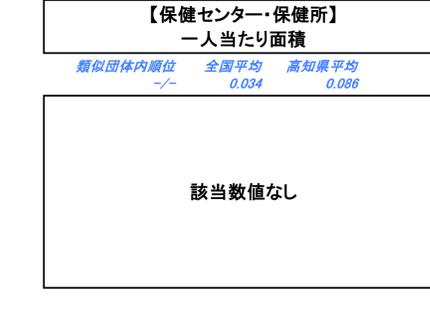
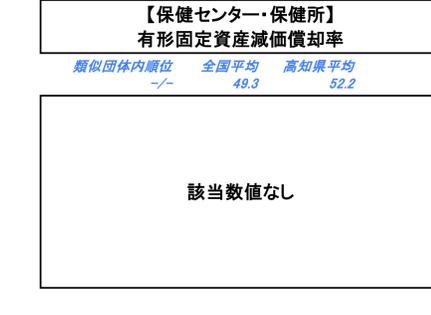
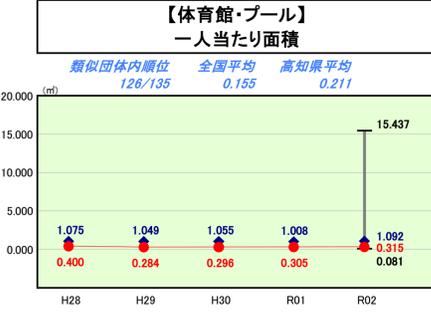
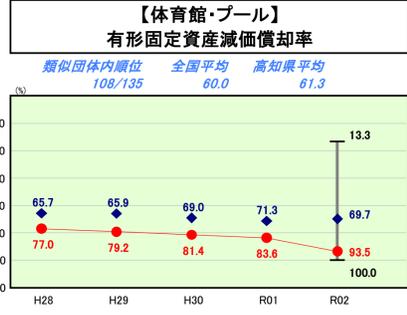
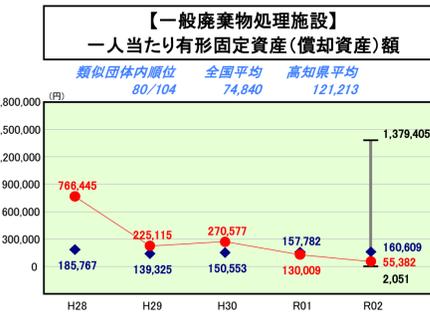
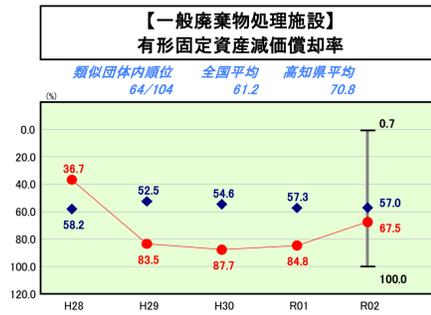
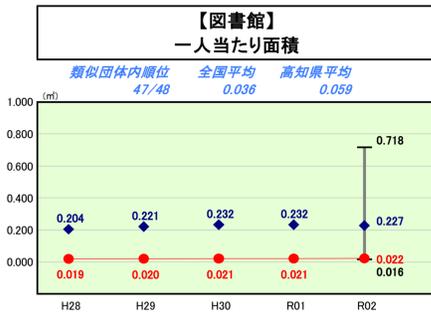
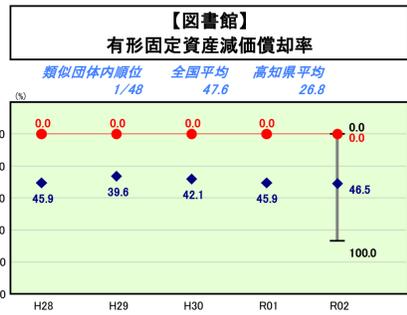
令和2年度

高知県東洋町

人口	2,307人	(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,287人	(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	74.02	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	12.7	%
歳入総額	3,473,107	千円	将来負担比率	67.8	%
歳出総額	3,445,962	千円	市町村類型	H28 I-O H29 I-O H30 I-O	
実質収支	16,129	千円	(年度毎)	R01 I-O R02 I-O	
標準財政規模	1,729,703	千円			
地方債現在高	4,093,433	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



**施設情報の分析欄**  
 図書館について、本町では公民館の1室を図書館として位置づけており、有形固定資産減価償却率が公民館に計上されており、数値が0となっております。また同様の理由により、一人あたりの面積も著しく低い数値となっております。消防施設については、有形固定資産減価償却率こそ微増しておりますが、地域防災センターや防災避難施設の建設により、一人あたり面積は増加傾向にあります。本町は、市民会館と庁舎が同一の建物で構成されており、有形固定資産減価償却率が同値となっております。また、同様の理由により、一人あたり面積についても類似団体と比較して低い水準となっております。